



目当てをもち成長する子供たち

教頭 筏井 弘毅

「いち、にい、さん・・・」子供たちが声を揃えて数え、大なわを跳んでいます。今年のジャンプロープ大会は、新型コロナ対策のため、色団対抗ではなく、学級対抗で行いました。各学級や、各自がそれぞれに目当てをもち大会に向けて取り組みました。

1年生は、「100まで跳びたい!」「去年の1年生よりも跳びたい!」と取り組みました。

※ 大きな数「100」まで跳びたい、ライバル(去年の1年生)に勝ちたいという気持ちが表れています。

2年生は、「200回を目当てに頑張りたい!」と跳ぶタイミングを声かけや背中を叩いて教えてあげていました。

※ 昨年より多く、しかもみんなで跳びたいと「仲間」を意識し始めています。

3年生は、「200回跳べるようになりたい!」と取り組み、クリアされると「今度は210回跳びたい!」と、目当てを改善しながら取り組みました。

※ 自分たちの達成可能な目標を決め、確実にステップアップしていこうとする力強さが感じられます。

4年生は、「250回跳びたい!」を目指して、学年目標「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を意識しながら、クラスのことを考えて取り組んでいました。

※ 4月に決めた学年目標を1年間しっかりと意識して取り組んできたこと、もうすぐ高学年になるという意識の高まりも感じられます。

5年生は、「300回跳んで、全校1位になりたい!」と目標を立てました。そのために、「①声を出す②失敗しない③詰めて跳ぶ」と、目当てを学級で話し合っ取り組みました。

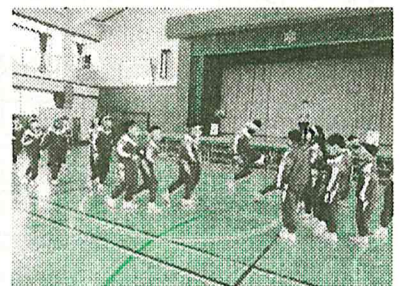
※ 目標に向かって、学級で話し合うなどこれまでの活動の成果が見られます。4月から最高学年になるたくましさも感じられます。

6年生は、「小学校生活最後なので、今までで最高の記録を!」と目当てをつくり、一人一人が自分の状況を考えて、取り組みました。

※ 最高学年として、みんなの目当てを実現するために自分はどうすればよいかをしっかりと考えています。苦手を克服するためにはどうすればよいかを具体的に考えて取り組む姿に頼もしさを感じます。

大会は、とても寒い日でしたが、体育館は凍とした雰囲気にも包まれていました。チャンスは2回です。3分間で合計何回跳ぶことができたかを競います。「はい、はい・・・」とリズムを刻んでかけ声をかけたり、ひっかかった人がいると「大丈夫。早く続けよう」と励まし合う熱い姿がどの学年でもたくさん見られました。

木津っ子が、日々目当て、願いをもち学習・生活をしていることを改めて感じました。振り返って自分はしっかりと目当てをもち生活しているだろうか?日々の仕事、生活にただ追われているような気がします。目当てをもち生活することの大切さを子供たちに教えてもらったように感じました。



【大会の様子】

令和3年度 4月の予定

4月6日(火)	新任式・始業式	9日(金)	給食開始(1年)
7日(水)	入学式	17日(土)	学習参観・PTA総会
8日(木)	給食開始(2～6年)		